



国際会長：

コシムテスワ博士、MPH PhD、RN - エス
ワティニ王国

事務総長

ダイアナ・ルジカ、MSN、RN - 米国

財務マネージャー

モボランレ・オンウピコ、RN、RM

ナイジェリア

国際教会補佐官

ケネス・スリーマン神父、MM (RN)

日本

アフリカ地域社長

ロザリン・オコボ、FCP、MHPM、

RN - ナイジェリア

アジア地域社長

フランシスカ・マランティン、RN - マレーシア

ヨーロッパ地域社長

マルゴルサタ博士 (ゴシア)

ブリュクチンスカ博士、RN、OCV

イングランド

パンアメリカン地域会長

マリアン・ノック博士、DNP、MPH、RN、

FAAN - 米国

倫理委員会委員長

ジョイス・アスフィさん、BNSC、MPH、

FWACN、RN - ナイジェリア

家族委員会委員長

Sr. Cecilia Adache、OSF、RN、MPH、

CFCP、CFCE - ナイジェリア

助産師委員会委員長

CINGO代表

アン・カビムバ博士 (PhD、RN/M)

ケニア

専門委員会委員長

ステラ・チスンカさん、BSc、MSc、RSCN、

RN - ザンビア

規則委員会委員長

Jane Buncuan 氏、BNSC、MNsg、RN -

マレーシア

国連代表 (UN/DGC/ECOSOC/UNICEF)

パトリシア・セイヤーズ博士、DNP、RN

アメリカ合衆国

クレッシェンド代表

ベアトリス・ヴァン・ドーサー氏、BN、RN

オランダ

国際医療社会カトリック・デ・アシスタント委員会

国際カトリック看護師・医療社会福祉士委員会

10月

2023



国際会長のデスクから International President's Desk

2024年8月5日から9日にケニアのナイロビで開催されるCICIAMSアフリカ地域大会の準備を進める中で、大会期間中に開催されるいくつかのイベントについて考えていました。

テーマとサブテーマは、組織レベルおよび個人レベルで私たち全員が取り組む必要がある話題の問題です。

もう一つの最も重要な問題は、次期CICIAMS指導者の選出です。私の兄弟姉妹の皆様、この行事のために祈りを込めて計画を立てていただきますようお願いいたします。90年前に始まったこの事業を継続するために献身的な指導者が必要です。

私たちは組織の創設者に対して、そのビジョンを存続させるために最善を尽くす義務があります。それぞれの立場で、教区、国、地域、そして世界レベルで、私たちがそれぞれの団体を支えるためにどのような貢献をしているのか、それぞれが自問自答してみましょ。そこで私は、個人レベルにおける誠実さの概念、そしてそれが私たちの同僚や顧客とどのように関わっているかについて、少し触れておきたいと思えます。

行動に一貫性があり、相手との関係や感情に関わらず、すべての人に平等に接することを示すことが重要です。誠実さは透明性と客観性も意味します。同僚やクライアントは、私たちに信頼し、私たちが下すあらゆる決定が事件の本質に基づき、透明性、論理性、客観性に基づいて行われていると確信しなければなりません。

方法。

誠実さを維持することは容易ではありませんが、誰もが活躍できる、真に永続的で力強い環境を創造するためには極めて重要です。オープンで前向きな職場環境の醸成から、強く回復力のあるチームの育成まで、組織における誠実さはすべてのメンバーに利益をもたらします。組織における誠実さとは、私たちが自らの責任を真剣に受け止め、責任を十分に理解していない場合は積極的に情報を求め、最終的には自らの行動に責任を負うことを意味します。こうしたコミットメントは、誠実さ、忠誠心、敬意、責任感といった多くの特性によって示されます。

この機会をお借りして、皆様に感謝申し上げますとともに、私たちがケニアでの会議の準備を進める中で神の祝福があり、また指名を行う際に適切なリーダーを見極める知恵が与えられますようお願い申し上げます。ありがとうございます。

ローズマリー・コーシムテスワ博士、MPH、PhD、RN

聖地のための祈りと断食の日 - 2023年10月27日

教皇フランシスコは「姉妹たちと

2023年10月27日の聖地のための祈りと断食の日に、キリスト教の各宗派の兄弟たち、他の宗教に属する人々、そして世界の平和を心から願うすべての人々が、それぞれ適切だと思う方法で参加することを呼びかけた。

2023年10月17日火曜日、CICIAMSの多くのメンバーがエルサレム総主教ピエルバティスタ・カルド・ピッツァバラ師と世界中のキリスト教徒の仲間と共に、断食、禁欲、そして祈りの日を共に過ごしました。私たちは共に祈りを捧げ、平和、正義、そして和解への渴望を父なる神に捧げました。世界のあらゆる場所で平和を祈りつつ、これからも父なる神に心を向け続けましょう。



CICIAMS年次総会でのモデレ

ーターによる証言

信徒の協会、
教会運動と新しい共同体

2023年6月22日、イタリア、ローマ

CICIAMS国際会長のKhosi Mthethwa博士 (MPH,PhD,RN)は、CICIAMSヨーロッパ地域会長のGosia Brykczynska博士 (PhD,RN,OCV)とともに、2023年6月22日 (木)にローマで信徒、家族、生活の部局が主催した信者協会、教会運動、新しいコミュニティの議長との年次総会にCICIAMSを代表して出席しました。



テーマは「ペテロとともに使徒する — 教会運動のアイデンティティの中心にある使徒性」でした。

1998年5月に開催された第1回国際教会運動会議から25年

後、教会運動の具体的な「使命」というテーマが取り上げられました。参加者は会議に先立ち、当時のヨゼフ・ラッツィンガー枢機卿による「神学的立場」に関する講義を受け、その内容を振り返りました。

CICIAMSヨーロッパ地域会長のゴシア・ブリュクチンスカ博士 (PhD,RN,OCV)、CICIAMS国際会長のコン・ムテワ博士 (MPH,PhD,RN)

ラッツィンガー枢機卿は講演の中で、「教会における運動の位置づけ、あるいは配置が『使徒性』であるならば、どの時代においても、使徒的生活を送りたいと願うことが根本的に重要であることは明らかです」と述べました。そして、どの時代においても「使徒的生活を送りたいと願う」ということは、福音伝道、宣教、愛徳、奉仕という三つの重要な要素を伴うと説明しました。これらは以下のよう

福音的生活：「財産、子孫、そして教会に対する自分の考えを押し付けることを放棄すること、すなわちキリストに従う従順さ」。

宣教生活：「使徒的生活には使徒的行為が求められます。最も重要なのは——様々な形で——福音の宣教、すなわち宣教の要素です。」

愛と奉仕：「福音宣教は決して言葉だけで行われるものではありません。愛は宣教の核心であり、真理の核心であり、その活動の中心です。愛は生活の一部となり、宣教そのものとなる必要があります。したがって、福音宣教は常に何らかの形で社会奉仕と結びついています。」

各運動／共同体は、それぞれの運動が使徒的生活の課題にどのように取り組んでいるかを振り返る3～4分の証言を準備するよう求められました。CICIAMSを代表してコン・ムテワ博士が提出した声明の全文は次のとおりです。

コン・ムテワ博士、MPH,PhD,RN、国際会長
国際教会運動と新共同体年次総会
信徒、家族、そして生活のための部局
2023年6月22日 (木)
バチカン市国-ローマ

CICIAMSは、世界的および国際的なレベルで、各国カトリック協会の協会として組織されています。

そして看護師、助産師、医療従事者のギルド。1935年8月27日、ローマで行われた国際カトリック看護師・医療社会扶助委員会の第2回世界会議に出席した2000人の看護師に対し、教皇ピウス11世は演説した。教皇は、看護師が身体に健康をもたらすだけでなく、最も重要なことに、魂に命をもたらすことの重要性を強調し、「そして、あなたがたの援助が病弱な人々にもたらさなければならない宝とは、まさに霊性、キリスト教の超自然であるキリストの宝なのです」と述べた。2年後、ロンドンで開催されたCICIAMS第3回世界会議で行った演説で、教皇ピウス11世はカトリックの看護師に優生学と新マルサス主義、つまり人口抑制から身を守るよう特に命じ、すべてのカトリックの看護師はカトリックの看護師協会に所属し、あらゆる方法でそれらを促進する義務があると集會に書き送った。1938年4月8日、ピツァル枢機卿は教皇の名において、米国の司教たち、そしておそらくは世界中の司教たちに手紙を送り、「大司教と司教たちは、



それぞれの教区の必要に応じてカトリック看護師の地方協会が設立され、やがて聖職者団の指導の下で統合され、全国カトリック看護師連盟が設立される可能性があります。

こうして、カトリックの看護師組織が教会の多くの教区で設立され、看護師たちは司教や司祭と協力してキリスト教の精神性と専門知識を高め、その成果として患者にキリストを届けることができました。

今日、私たちの課題は何でしょうか？

私たちが直面している課題は、法王が約90年前に提起されたものです…異教と物質主義が医療に浸透しています。元々はキリスト教の病院でしたが、カトリックの司祭、修道女、そして多くの地域の信徒によって設立されましたが、もはやキリスト教徒ではありません。医療制度における課題には、中絶、避妊、不妊手術、性転換手術、安楽死、不必要な整形手術、臓器提供のための臓器摘出などへの協力要請や要求などがあり、これらは人間の尊厳に対する多くの侮辱のほんの一例に過ぎません。

今日の医療は依然として厳しい状況にあります。組織としての課題は財政面です。CICIAMSは以前はピウス12世財団から毎年助成金を受けていましたが、2014年に停止しました。多くの国内協会は年会費の支払いに困難を抱えており、その結果、執行委員会のメンバーがCICIAMSに代わって旅費や活動費を負担しています。この費用を負担できない人もおり、財政的余裕のある看護師だけの組織にはなりません。…カトリック看護師全国ギルドおよび協会への聖職者による支援については、国や教区によっては司教からの特別な支援を受けているところもありますが、全く支援を受けていないところもあります。1938年と同様の書簡がフランシスコ教皇から再び送られれば、看護師たちは大きな恩恵を受けるでしょう。

昨年米国で開催された第21回世界会議に続き、真の使徒的生活を促進するために8月、私たちは看護師たちに5つのカトリックの規律を推奨しました。それは、毎日の聖書朗読、毎週の聖体拝領、ロザリオ、断食と告解です。また、より深い霊的な祈りの生活の必要性も認識しました。その中には、聖ハンナの言葉「私たちの仕事はキリストの仕事であり、その仕事には十分な犠牲が内在している。ただし、私たちが良心的に行うならば」も含まれています。これは、「自分が持っていないものを他人に与えることはできない」という教えを物語っています。

国際組織としての私たちの使命は、世界中の看護師を相互支援の精神で結集させることです。私たちは、2年に一度、ヨーロッパ、アジア、アフリカ、パンアメリカの4つの地域のいずれかで開催される総会と、4年に一度開催される世界会議を通してこの使命を果たします。私たちは、郵便、Eメール、WhatsApp、テキストメッセージ、ニュースレターなど、新旧様々なテクノロジーを用いてコミュニケーションを図っています。総会と総会の間は、執行委員会が総会の意志を遂行する役割を担っています。

各地域と各教区では、会員の自発性と創造性に基づき、多くの使徒的活動が実施されています。例えば、アジアでは、韓国とシンガポールのカトリック看護師ギルドが毎年、多くの若い看護師、信徒、修道者が参加する霊的リトリートを主催しています。エスワティニでは、カトリック看護師ギルドが

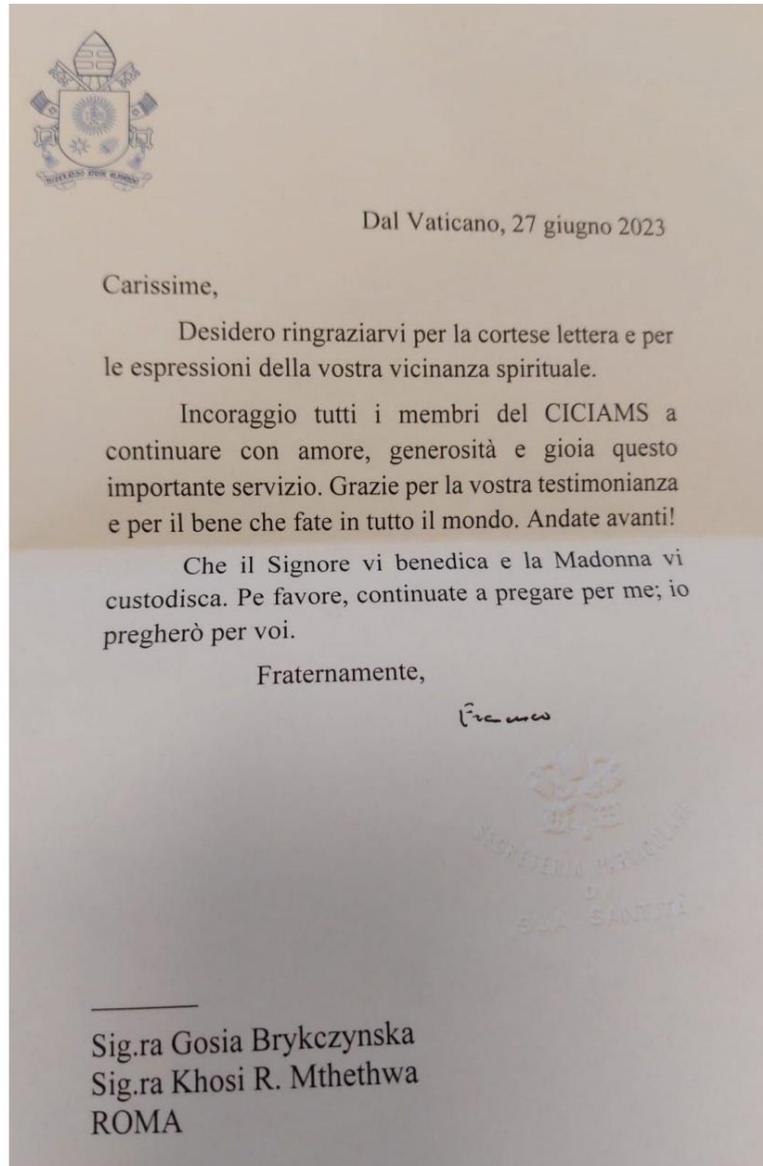
当初は世界保健機関の資金提供を受け、現在は自立運営されている聖テレサクリニックを設立しました。国際的には、ジュネーブの教皇大使を通じて教皇財団に助成金を申請し、各地域で2名の看護師に不妊治療システムとナプロテクノロジーの研修を提供し、不妊症と自然な出産間隔の問題について指導を行っています。すでにナイジェリアではこのシステムの教育者がおり、2023年5月の国際看護師の日に国連で功績を称えられました。12月には、国際看護師の日に国連でキリスト教的価値観を体現する世界中の看護師を表彰するために、Nurses with Global Impact, Inc.とのコラボレーションを開始しました。ニューヨーク市を訪れた今年の実績者には、マレーシアの熱帯雨林で生涯を過ごし、ステーションワゴンやワゴン車を使い、時にはボートで急流を下って遠隔地まで行き、熱帯雨林の遠隔地の人々に医療、食料、必需品を届けたシスター・ステラ・タンがいます。ナイジェリアのシスター・セシリア・アダチェさんは、不妊治療システムとナプロテクノロジーへの貢献が評価されました。ポーランドのシルウィア・ユシキエヴィチさんは、脳神経外科で働く看護師で、ウクライナ戦争で負傷した人々のケアのために救急隊員のボランティアとして活動しています。そして、ケニアのルーシー・タンガさんは、CICIAMSアフリカ地域会長を務め、アフリカ全土の看護師を結集し、異性間の結婚におけるHIV/AIDSの感染を防ぐため、結婚生活における貞節と貞操を奨励する「フェイスフル・ハウス・プロジェクト」など、複数のプロジェクトを実施しました。



パチカン市国のスイス衛兵と共にいるブリュクチンスカ博士とムテトワ博士

国際カトリック看護師・医療ソーシャルアシスタント委員会の使徒的活動の一部を簡単にご紹介する機会をいただき、ありがとうございます。皆様を神が祝福してくださいませよう、そして、初めて列福された平信徒登録看護師であり、看護師と看護師協会の守護聖人である聖ヨハネ・デ・ゴッドと聖カミッロ・デ・レリスのハンナ・クリザノフスカ師の執り成しを通して、私たちの活動を神がこれからも祝福してくださいませようお祈り申し上げます。

フランススコ教皇聖下からのメモ



バチカンより、2023年6月27日

親愛なる、

親切なお手紙をありがとうございます

そして、あなたの精神的な親密さを表現するためです。

CICIAMSの会員の皆様には、愛と寛大さと喜びをもって、この重要な奉仕を続けてくださるようお願いいたします。皆様の証しと、世界中での善行に感謝いたします。これからも素晴らしい活動を続けてください。

主の祝福と聖母の守りがありますように。どうか私のために祈り続けてください。私はあなたのために祈ります。

友愛の精神で
フランス



2023年6月に信徒、教会運動、新共同体の協会の議長との年次総会に出席するためサンタ・マルタに滞在していた際、サンタ・マルタのダイニングルームで一緒に食事をした際に教皇フランスコ聖下から送られた挨拶に対する返答として、CICIAMS国際会長のKhosi Mthethwa博士 (PhD, RN)とCICIAMSヨーロッパ地域会長のGosia Brykczynska博士 (PhD, RN, OCV)に送られたメッセージ。

あなたはカトリックの看護師ですか、それともカトリックの看護師ですか？ Nurse?

1935年8月27日、ローマで開催された国際カトリック看護師世界会議において、教皇ピウス11世はカステル・ガンドルフォに集まった2000人の看護師たちに演説を行いました。異教と物質主義があらゆる場所に浸透していることへの懸念を表明した後、教皇は次のように述べました。「ですから、何よりもまず、そしてどんな犠牲を払っても、霊性、キリスト教、キリスト教的超自然の精神に満ちなければなりません。…私たちは、自分自身が持っていないものを他人に与えることはできません。…そして、皆さんの援助が病弱な人々にもたらすべき宝は、まさに霊性、超自然の宝なのです。」教皇は、看護師が物質的な身体的な慰めと専門的な知識を持つことの重要性を指摘しました。しかし、何よりもまず、私たち自身がキリスト教的超自然を身につけていなければなりません。聖母マリアが推奨する5つのカトリックの戒律をご紹介します。祈りの生活を深めるために、これらのいくつか、あるいはすべてを取り入れてみてはいかがでしょうか。

聖書 / 聖体拝領 / ロザリオ / 断食 / 告解

(毎日の読書) / (毎週日曜日) /

(毎日) / (週2回) /

(月刊)

聖ヨハネ・デ・ゴッド、聖ガミルス・デ・レリス、福者ハンナ・クルザノフスカ、RNwska, RN

看護師と看護協会の守護聖人よ、私たちのために祈りください。for us.

CICIAMS第7回アフリカ地域会議 Region Congress with 執行委員会 (EB)とCICIAMS総会 (GCM) CICIAMS General Council Meeting (GCM)

ラウダート・シとシノダリティの精神に基づき、保健医療サービスの
向上を目指した看護・助産教育の強化 in the Spirit of *Laudato Si* and Synodality

info@catholicnurseskenya.org; www.catholicnurseskenya.org

スケジュール:

2024年8月5日 - 執行委員会 (EB)
2024年8月6日 - 一般理事会 (GCM)
2024年8月7日 - CICIAMS第7回アフリカ地域会議開会式、基調講演、
1~2枚の論文
2024年8月8日と9日 - プレゼンテーション
2024年8月10日 - 出発または遠足

今すぐ登録して宿泊を予約する

執行委員会会議2024年8月5日: CICIAMS 執行委員

会会議には、選出された 14 名の執行委員会メンバーと国際教会補佐官が参加します。

2024年8月6日総会:

CICIAMS GCM は CICIAMS の最高統治機関であり、執行委員会全体と各国協会/ギルドの会長またはその代表者で構成されます (第 8 条)。GCM は 2 年ごとに世界会議およびいずれかの地域会議で開催されます。メンバー協会は、協会/ギルドの会長またはその代表者が GCM に出席します。会長には、その協会の 1 名以上の会員が同伴できます。合計 4 名が発言権を持ちます。その他の会員は、発言権のないオブザーバーとして GCM に出席できます。協会の正式な代表として指定されていない執行委員会のメンバーは、発言権を持つオブザーバーとして総会を支援しますが、投票権はありません。

正会員で、年会費を納めている会員協会は投票権を持ちます。

会員数が1,000人を超える会員協会には、2回目の投票権が与えられます。

会議テーマ: ラウダート・シとシノダリティの精神に基づき、看護・助産教育を強化し、保健医療サービスの向上を目指す

会場: ケニア金融研究学校 (収容人数100名)、近隣ホテルも追加予定。

主催: ケニアカトリック看護師ギルド

抄録提出メールアドレス: abstract2024@gmail.com

詳細情報: ケニアカトリック看護師ギルド

ロザンヌ・ニャベラ氏 (コーディネーター) (+254)0722 754 505 alooroseanne@gmail.com

アン・ワワイヤー・カビンバ博士 (+254) 0725 411 421 annekabimba@gmail.com

登録と宿泊の詳細については、当社のウェブサイトをご覧ください: www.catholicnurseskenya.org

2024年の選挙

2024年以降の候補者を募集します

執行委員会の役職:

国際会長 (2024-2028)

財務マネージャー (2024~2028年)

地域会長:

アフリカ (2024~2026年、その後4年間の任期が再開)

アジア (2024-2028年)、

ヨーロッパ (2024-2028) /

パンアメリカ (2024-2028)

議長:

倫理 (2024~2026年、その後4年間の任期が再開)

助産師 (2024-2028年)

プロフェッショナル (2024-2028)、

法令 (2024~2026年、その後4年間の任期が再開)

国連代表

(国連/DGC/ECOSOC およびユニセフ) (2024-2028)



ジェーン・バンクワン

規則委員長
委員会

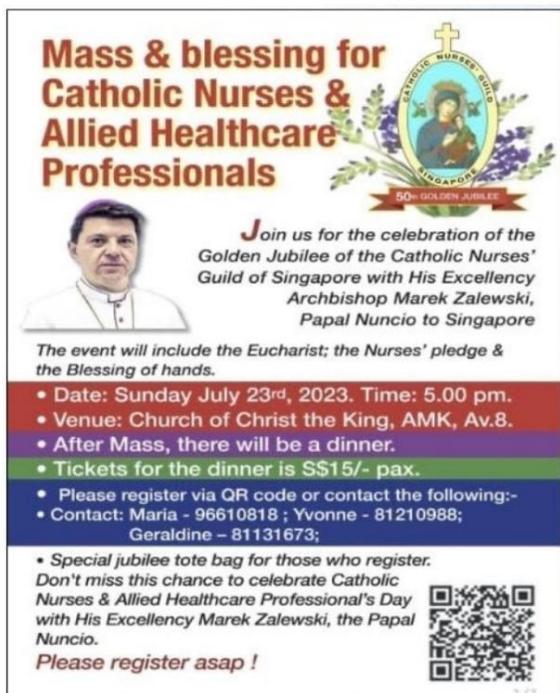
***候補者はCICIAMS事務局長に以下のものを提出します。

ciciamsinternational12@gmail.com: 1) 履歴書 (CV)、2) 全国会長が署名した推薦書、3) ビジョンと役割の遂行方法に関する簡単な説明。

ご自身または会員が奉仕を希望される場合は、できるだけ早くご提出ください。全地域からの参加を希望します。

シンガポールカトリック看護師ギルドー創立50周年記念

イヴォンヌ・リュウ&ジャネット・チョン



Mass & blessing for Catholic Nurses & Allied Healthcare Professionals

Join us for the celebration of the Golden Jubilee of the Catholic Nurses' Guild of Singapore with His Excellency Archbishop Marek Zalewski, Papal Nuncio to Singapore

The event will include the Eucharist; the Nurses' pledge & the Blessing of hands.

- Date: Sunday July 23rd, 2023. Time: 5.00 pm.
- Venue: Church of Christ the King, AMK, Av.8.
- After Mass, there will be a dinner.
- Tickets for the dinner is S\$15/- pax.
- Please register via QR code or contact the following:-
- Contact: Maria - 96610818 ; Yvonne - 81210988; Geraldine - 81131673;
- Special jubilee tote bag for those who register. Don't miss this chance to celebrate Catholic Nurses & Allied Healthcare Professional's Day with His Excellency Marek Zalewski, the Papal Nuncio.

Please register asap !

カトリック看護師組合 (CNG)の看護師の日恒例の聖なる犠牲ミサが、2023年7月23日に執り行われました。ポーランドのヌンシオ・マレク・ザレフスキ大司教が主司式を務め、霊的指導者のジョンソン神父も同席しました。CNGシンガポールの50周年、つまりゴールデンジュビリーを祝う式典であったため、意義深いものでした。私たちは長い道のりを歩んできました。

主を讃えます。250名以上の看護師と医療従事者が参加しました。



フランシスコ教皇 (バチカン市国)閣下御署名の教皇祝福状を拝領いたしました。この教皇祝福状は、ミサ中に教皇大使より執行委員会 (EXCO)全メンバーと前EXCOメンバーに複製され、授与されました。



退職したEXCO看護師に教皇の祝福証明書が授与される



退職看護師のほとんどが、この賞状を受け取ってとても感動し、光栄に思っていると述べていました。私たちは、あなた方を含め、そして今も何らかの形で奉仕を続けているすべての国々の退職看護師の方々に感謝の意を表しました。

皆さんはCNGの看護に貢献してください、私たち (後輩たち)もその恩恵を受け、皆さんの素晴らしい仕事を引き継ぐことができました。誇りに思っています。素晴らしい週末をお過ごしください！

シャローム

シンガポールカトリック看護師組合 創立50周年記念 (続き) Jubilee (cont'd)



イヴォンヌ・リュウとシンガポールの教皇大使、マレク・ザレフスキ大司教



シンガポールカトリック看護師組合 創立50周年記念おめでとうございます!!! Singapore!!!

カトリック看護師ギルドインド、カトリック保健協会会議に参加 Catholic Health Associations

インド・カトリック看護師ギルド (CNGI)は、南インドのケーララ州で開催されたインド・カトリック保健協会の会議に参加しました。テーマは「持続可能な医療のためのリーダーシップ」でした。CNGI会長のサラ・マクワン氏 (FC、MSN、MBA)が、看護師ギルドを代表してこのテーマに関するプレゼンテーションを行いました。



カトリック看護師ギルドインド、カトリック保健協会会議に参加 (続き) Health Associations (cont'd)

インド・カトリック看護師ギルド (CNGI)は、南インドのケララ州で開催されたインド・カトリック保健協会の会議に参加しました。テーマは「持続可能な医療のためのリーダーシップ」でした。CNGI会長のサラ・マクワン氏 (FC,MSN,MBA)が、看護師ギルドを代表してこのテーマに関するプレゼンテーションを行いました。



サラ・マクワン氏、FC,MSN,MBA、カトリック看護師ギルド・インド会長



日本カトリック看護協会 (JCNA) - 平和ウォークへの医療支援 Support for Peace Walks

日本カトリック看護協会会長 清水 博子 教授

1945年8月6日、日本の広島に、そして同年8月9日には長崎に原子爆弾が投下され、計30万人の市民が一瞬にして亡くなりました。この2つの町では、市民が平和祈念の日に平和ウォークを実施しています。2023年も両町で平和ウォークが実施され、日本核軍縮協会 (JCNA)長崎支部と広島支部のメンバーが参加者への医療活動を行いました。広島の写真①には、「下関市民平和ウォーク」「日本は核兵器禁止条約に参加しなければならない」「原発と核廃棄物は日本破滅への道だ」という言葉が刻まれています。広島の写真②には、「経済？平和？どちらを優先する？」という言葉が刻まれています。ウクライナの人々が同じような状況に陥らないよう祈ります。



遺贈:家族や個人は、今すぐに、または遺産計画/遺言で寄付することにより、国際カトリック看護師および医療ソーシャルアシスタント委員会の使命と目標に資金を提供するための遺贈/寄付を行うことができます。

皆さんの地上での善行は、世界中の看護師の活動を通して生き続けます。CICIAMSへのご支援をご検討ください。CICIAMSへの資金援助に関する詳細は、事務局長 (CICIAMSInternational12@gmail.com)までお問い合わせください。

ナイジェリアカトリック看護師ギルド(CNGN)Annual Conference Conference

CICIAMSアフリカ地域会長 ロザリン・オコボ

ナイジェリア・カトリック看護師ギルド (CNGN)は、2023年9月18日から22日まで、「困難なナイジェリアで障壁を打ち破り絆を築く」というテーマで毎年恒例の全国会議を開催しました。

サブテーマ:

1. 献身的な看護師、ナイジェリアの医療ニーズへの対応
2. 「団結すれば立ち上がる、分裂すれば倒れる」 :ナイジェリアにおける効果的な医療提供への示唆
3. 牧会のタンデム。2023年のフランシスコ教皇のメッセージに照らして「彼を大事にしてください」
世界病者の日
4. ナイジェリアにおける少数民族の看護と性差の障壁を打破る、今後の展望。
5. 看護師の起業 :ナイジェリアにおける人材流出と経済的奴隷制の解決策



ミサの冒頭の聖なる犠牲は、イバダン県のガブリエル・レク・アベグンリン大主教祝下が、第34回全国年次会議および年次総会に出席されました。

開会式では、ジョイス・アスフィ編集長によるナイジェリア・カトリック看護師の声 (VOCANON)誌の発表と、それに続く招待客とCNGN会員による創刊式も行われた。



アベグンリン大司教は、会議のテーマの選択を賞賛するとともに、ナイジェリアは不安、不正、貧困、飢餓など、実に多くの課題を抱えていることを認め、参加者に対し、これらの課題の原因について冷静に考える機会として会議を利用し、これらの障壁を打破する方法についてブレインストーミングを行うよう促した。

彼はまた、牧師たちに、彼らのケア下にある看護師たちを指導し指揮する上で、牧師としての使命に常に従えと命じた。



Erodite の学者たちは、2023年9月18日から21日まで、このテーマとサブテーマに関する論文を発表しました。年次総会は2023年9月22日金曜日に開催されました。



ナイジェリアカトリック看護師ギルド (CNGN) – 年次全国会議 Annual Conference

CNGNはまた、CICIAMSアフリカ地域会長のロザリン・オコボ氏による演説の中で、CICIAMS国際会長のローズマリー・コシ・ムセワ氏 (MPH, PhD, RN) から会長挨拶を受けました。オコボ氏は、CNGN会長とその幹部に対し、年次総会および会議開催という規約の指針を一貫して遵守していることを祝福しました。また、教会指導者から受けている司教的支援にも感謝の意を表しました。オコボ氏は、CICIAMSで最も強力な活気のある会員のひとつであるナイジェリア・カトリック看護師ギルドに感謝の意を表しました。オコボ氏は、より多くの会員を組織に引き付け、指導的立場に就くための育成と準備を継続するよう同ギルドを激励しました。



米国カトリック看護師協会 (NACN-USA) Nurses, U.S.A. (NACN-USA)



ダイアナ・ルジカ、ザカリー・マカリスター、
ジャネット・マンデー、マドンナ
大学、2023年2月25日

マドンナ大学創立60周年記念式典およびビクトリア・インディク博士 (RN) 追悼式

2023年2月25日、NACN-USA中部大西洋地域ディレクターのジャネット・マンデーとCICIAMS事務局長のダイアナ・ルジカが両団体を代表して、米国ミシガン州デトロイト大司教区内のミシガン州リヴォニアにあるマドンナ大学で60年間の看護を祝い、支援しました。昼食会で看護師たちは、COVID-19パンデミック中に亡くなり、大学、NACN-USA、ハイチでの使命に多大な貢献をしたシスター・ビクトリア・インディク (CSSF, PhD, RN) の貢献を偲びました。ダイアナ・ルジカは、CICIAMS国際会長のコーシムセワ博士 (MPH, PhD, RN) からの挨拶を伝え、インディク姉妹がNACN-USAと世界の多くの場所でカトリック看護に与えた影響について温かい言葉を共有しました。2022年8月にペンシルベニア州ドイルズタウンで開催されたCICIAMS XXI世界会議に出席したマドンナ大学の看護インストラクター、ザカリー・マカリスター (MSN, RN) は、マドンナ大学にカトリック看護師の地方評議会を再設立することに関心を示しました。



シニアヴィッキー インデ
イク、CSSF、博士、RN
1951 ~ 2020
NACN-USA
メンバー

追悼



私たちギチュヒ家は、深い悲しみとともに、ルーシー・ワング・タンガさんが短い闘病生活の末、2023年7月21日にナイロビのアガ・カーン大学病院で亡くなったことをお知らせします。

ルーシーは故マイケル・キフンギ・キモト氏と故モニカ・ワイリム・キフンギ氏の娘でした。彼女は故シスト・ギチュヒ・カニヤリ氏と故ザベリア・ワング・ギチュヒ氏の義理の娘でした。

ルーシーは故ポール・タンガ・ギチュヒの愛妻であり、クイとハッチ、アレックスとベアトリス、マイクとヘレン、ワイリムの愛する母親でした。バキタ、パトリシア、アレクサンドラ、ガブリエラ、ミカエラ、タンガにとっては大切な祖母。ゼインにとっては溺愛する曾祖母。

ルーシーは、キャサリンとジョージ・ンドウング、故ジェームズとスザンナ・キモト、エスターとピーター・ギルバート、ワイティラとジョン・カルング、故チャールズ・ガチエル、フローレンスと故エリシャ・ワンデリ、ジョージとヴェロニカ・マゲリア、故ウィリーとニョカビ・マチャリア、ソフィアとモリス・ギティエヤ、ジェーンとングレ・マクミ、ピーターとジョイス・ワンジョヒの兄弟姉妹でした。

彼女は、故フィリップ・ティウリとベルナデット・ティウリ夫妻、コンソラータ・カルゴとデイヴィッド・カルゴ夫妻、ジョセフ・ワンブグとジョイス・ワンブグ夫妻、故ジュリエッタ・ワンブイ夫妻、ダニエル・ンデグワとジェーン・ンデグワ夫妻、故マイケル・ワンゴンドウとグレース・ワンゴンドウ夫妻、メアリー・ワンガリ・ンドウイガ夫妻、ジョン・ワンジョヒとジェーン・ワンジョヒ夫妻、そしてバーナード・ムヒンジャとソフィア・ムヒンジャ夫妻にとって、最愛の義姉でした。彼女は多くの人にとって叔母、姪、従妹、そして親友でした。

レクイエムミサは、2023年7月31日月曜日午前11時にカレンの聖ヨハネ福音伝道者カトリック教会で開催され、追悼は午前9時30分に始まりです。

葬儀は2023年8月1日火曜日にオサヤで執り行われます。

[ルーシー、主の許で安らかに眠ってください。](#)

ルーシー・タンガさんの葬儀で読み上げられたCICIAMSからの弔辞以下の弔辞は、CICIAMS国際会長のコン・ムテトワ博士とジェラルディン・マクスウィーニー氏の協力を得て作成されました。愛するルーシーの死は、私たちにとって大きな悲しみです。

CICIAMS国際会長およびCICIAMS執行部、公衆衛生学修士、博士、看護師のKhosi Mthethwa博士を代表して理事会一同、ルーシー・ワング・タンガが永遠の命へと旅立ったことに心より哀悼の意を表します。

ルーシーは、その強い信仰と献身的なカトリック教徒としての資質、そして卓越したリーダーシップを持つ看護師として、永遠に記憶に残るでしょう。彼女は親しみやすく、温かく、友好的で、献身的なプロライフの擁護者でした。機会があればいつでも、彼女はその役割を見事に果たしました。

彼女は世界中の忠実なカトリック看護に多大な貢献をしました。地方レベルでは、ケニア・カトリック看護師協会（CNAK）の創設者の一人であり、ドイツ・カトリック協会（Caritas Gemeinschaft）の支援を受けて、CNAKをゼロから立ち上げる責任を担いました。ケニアにおける「忠実な家」プログラムの設立を指導し、他のアフリカ諸国におけるこのプログラムの責任者との連携を主導しました。HIV感染のピーク時には、夫婦間のHIV感染拡大を防ぐため、夫婦間の健康的な生活を推進しました。

地域レベルでは、CICIAMSアフリカ地域の会長として、彼女は連絡を維持するために精力的に働きました。加盟協会と協力し、他の国々にもCICIAMSへの加盟を促しました。最近ではジンバブエからも加盟がありました。ルーシーは、アフリカ全土のカトリック看護師協会において、自主組織化と自立の文化を推進しました。アフリカから7カ国がCICIAMSの会議に積極的に参加する姿を見ることができ、彼女は幸運でした。

ルーシーは家族委員会の委員長として、出産年齢の女性への破傷風ワクチンとされ、後に不妊治療ワクチンと判明したワクチンの接種に反対するキャンペーンを主導しました。また、アフリカ地域の看護師に対し、プロライフ教育に積極的に取り組み、無防備なコミュニティを不正操作や搾取から守るよう指導しました。任期満了後、ルーシーはエスワティニのカトリック看護師ギルドのメンバーを育成し、そのメンバーが家族委員会の委員長に選出されました。

CICIAMSからの弔意の手紙（続き）

ルーシーはアフリカの協会を動員し、彼らの膨大な活動を記録し、展示し、お互いから学びました。その他、研究やCICIAMS会議での発表などを通じて、様々な分野で活躍しています。彼女の指導のおかげで、アフリカ地域のカトリック看護協会の会員は、それぞれの国における素晴らしい活動と成果について、報告書を作成し、共有するスキルを身につけました。

国際レベルでは、ルーシーはCICIAMS執行委員会の委員として、まず家族委員会の委員長を務め、パチカンの部局が定める家族問題に関する最新の指針文書を会員に周知徹底させるべく尽力しました。長年にわたり、世界保健機関（WHO）におけるCICIAMSの諮問機関としての地位維持に貢献しました。2020年にナイロビで開催された地域会議は、COVID-19パンデミックの影響で2024年に延期されましたが、彼女はその開催に尽力しました。ルーシーは素晴らしい人物であり、CICIAMSの傑出した会員でした。彼女が願っていたのは、CICIAMSが成長し、国レベルでも知られるようになることでした。彼女はCICIAMSへの会員の増加を喜び、CICIAMSで指導的立場に就くことに同意するよう私たちに勧めました。

ルーシー・ワング・タンガは家族愛の素晴らしい模範でした。夫のポールが彼女を買収したにもかかわらず、2022年に米国ペンシルベニア州ドイルズタウンのチェンストホヴァ聖母マリア聖堂で開催されるCICIAMS第21回世界会議への参加チケットを受け取ったにもかかわらず、彼女は病気の夫を看病するために出席を断念しました。神のご冥福をお祈りいたします。彼女が大切に語っていたお子様やお孫様のためにお祈りいたします。愛するご両親が今は安らかに眠っていることを知り、慰められますように。そして、ご両親のためにミサを捧げることを忘れないでください。

彼女が2023年に米国へ旅立ち、世界レベルでの医療とカトリック看護への貢献が国連で国際的に認められたことを、私たちは大変嬉しく思います。ルーシーの不在は私たちにとって大きな痛手です。

メリノール教会宣教師であり、CICIAMS国際教会補佐でもあるケネス・G・スレイマン神父は、2023年7月23日（日）、ルーシーのために聖なるミサを捧げ、次のように述べました。「愛しいルーシーと彼女の幸せな人柄を思い出します。

彼女はCICIAMSへの神からの贈り物です。」

彼女の訃報に深く悲しみ、世界中から祈りを捧げます。全能の神と聖母マリアが、私たち一人一人と彼女の近親者を慰めてくださいますように。天使たちが彼女を神の懐へ導きますように。主よ、ルーシーに永遠の安息が与えられ、永遠の光が彼女の上に輝きますように。彼女の魂と、神の慈悲によって亡くなったすべての信者の魂が安らかに眠りますように。アーメン。



ルーシー・ワング・タンガ（ケニア）、ローズマリー・コシ・ムテスワ（エスワティニ）、ダイアナ・ルジツカ（アメリカ）、キャサリン・ペロ（マレーシア）、国際看護師の日、2023年5月12日、国連、ニューヨーク市、ニューヨーク州、米国



シニア セシリア アダシュ、OSF、ルーシー ワング タンガ、グローバルインパクト看護師賞受賞者

組織のBusiness of the Organization

CICIAMS公式文書とリンク

CICIAMS 2023 規約および規則: <http://www.ciciams.org/ciciamsreports.html>

CICIAMS カトリック看護師のための倫理ガイドラインと実践原則: www.ciciams.org/ethicscommittee.html



CICIAMS ミッション

§ 1. CICIAMSのミッションステートメント :教会の道徳的および社会的教えに基づき、CICIAMSは次のことを約束します。•国際的に医療従事者を指導および支援することにより、私たちの生活の中でキリスト教の証しを与える

- 受胎から出産まで、人生に対する前向きなビジョンを育む死
- キリスト教と職業的価値観を私たちの活動に反映させる他の国内外の協会と協力する
- 看護専門職の精神と理想を広めるための会員協会の活動を調整する

- 活動の開始と参加を促進する
最適なケアと健康の達成に向けた専門的な研究開発
- 他者の宗教的信念を尊重し、その信念を実践する権利を認める。



CICIAMSの目的

- 所属する団体の専門的かつキリスト教的な利益を代表するメンバー
- メンバーの精神的な福祉と倫理的価値観の促進
- 健康および社会的な健康対策を推進する
カトリックの原則と専門能力開発
- 加盟協会間の協力の促進

ニュースをCICIAMS事務局宛にお送りください:
CICIAMSInternational12@gmail.com

イベントカレンダー



- 世界メンタルヘルスデー、2023年10月10日 (誰が)
- 第7回世界貧困者の日、2023年11月19日
「貧しい人から顔を背けてはならない。」 (バチカン)
- CINGO (カトリック系NGO)年次報告

12月の会議 -----2024-----

- 第57回世界平和の日 (バチカン) - 2024年1月1日
- 第71回世界ハンセン病デー - 2024年1月28日
- 第5回世界NTD (顧みられない熱帯病)
2024年1月30日
- 第32回世界病者の日 - 2024年2月11日
- 第17回世界希少疾患デー - 2024年2月28日
- 世界保健デー (1948年の第1回世界保健総会で制定) - 2024年4月7日
- 国際看護師の日 - 2024年5月10日 (金曜日)
- 第37回世界禁煙デー (WHO) - 2024年5月31日
- 世界難民の日 (国連) - 2024年6月20日
- 教会のモデレーター年次会議
運動と新しい共同体、信徒・家族・生活のための部局、2024年6月、ローマ (日程未定 - 国際会長他1名出席)
- 2024年6月26日 - 薬物乱用および違法取引反対国際デー (国連)
- 第3回世界祖父母と高齢者の日 2024年7月28日(7月の第4日曜日、聖ヨハネと聖パウロの祝日の近く)
イエスの祖父母であるヨアキムとアンナ (バチカン)
- 2024年8月5日~9日 - CICIAMS第7回アフリカ地域会議、ケニア、ナイロビ*
8月5日 - 執行委員会
8月6日 - 総会 (全全国協会/ギルド会長またはその代理人)
8月7~9日 - 地域会議
8月10日 - オプション遠足
- 被造物の保護のための世界祈祷日。
テーマ: 「正義と平和が流れますように」 - 2024年9月1日 (バチカン)
- 国際平和デー - 2024年9月21日 (国連)
- 第110回世界移民・難民の日、2024年9月24日 (バチカン)
- 第39回世界青年の日、
2024年11月24日 キリスト王の祭日における特定教会 (教区世界青年の日)
「主に希望を置く者は走り続けても疲れない」 (バチカン)
- 2025年 - 聖年 (バチカン)
- 2026 - CICIAMS XXII 世界会議 - タイ*
- 2027年 - ワールドユースデー、ソウル (韓国)